

科目コード/科目名 (Course Code / Course Title)	その他/2年次演習1 (Seminar1(2nd year))
テーマ/サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	経営戦略の理論と実態の基礎
担当者 (Instructor)	秋野 晶二 (AKINO SHOJI)
学期/単位 (Semester / Credit)	春学期/2単位 (Spring Semester / 2 Credits)
備考 (Notes)	コンセントレーション: マネジメント領域, アカウンティング&ファイナンス領域

授業の目標 (Course Objectives)

この授業の目的は、企業と経営戦略の理論、歴史・現状に関連する多数の文献・資料の収集、文献の熟読・読解の把握に基づいて、企業活動の問題を見つけ出し、それを多面的な観点から理論的かつ実証的に解明する能力を養うための基礎的能力(読む・書く・話す・調べる・理解する)を習得する。

授業の内容 (Course Contents)

企業には、業績の良い企業とそうでない企業がある。そのようなことがなぜ起こるのだろうか。ゼミでは、このような企業的好・不調の要因や様々な企業をめぐる謎を経営戦略論に基づいて理論的・実証的に解明する能力を習得する。

そのためにまず本ゼミでは経営学の専門書などの企業活動に関する経営理論を報告→論点の提示→論点の議論→発展報告といったプロセスで時間をじっくりとかけて深く学ぶ。

並行して企業の財務データや産業データの見方、分析の仕方を学び、実際に、企業や産業の実態を分析する。その際、ゼミで作成した経営分析のテキストを各自活用し、企業分析の仕方の基礎を学ぶ。特に、2年生は、グループで企業の分析を行う。その際、エレクトロニクス産業の中から企業を選定し、テーマを設定したうえで、その分析を行う。(2014年度はソニーとパナソニック)このような企業分析を行うに当たっては、企業に関する広範で多数の文献・資料を地道に収集し、これをじっくりと読み込みながら、経営分析の手法をも活用して、1年かけて実施する。このことを通して多様な考え方を理解し、そこから自分の考え方を創り出すための基礎的な力を養う。

秋野ゼミは、大学においてしか身につけられない能力と友人が得られるゼミです。企業の理論と実態の両方に関心があり、向上心と探究心をもって持続的に時間をかけ粘り強く勉強し、みんなで協力してゼミを活性化してくれる学生を待っています。

なお詳細なシラバスについては、<http://www.rikkyo.ne.jp/web/z5000006/akinoHP~2014/rishu.html>を必ずよく読むこと。

授業計画 (Course Schedule)

1. 第一回ガイダンス
2. 第二回ガイダンス
3. テキスト輪読
4. テキスト輪読
5. 企業分析報告
6. テキスト輪読
7. テキスト輪読
8. テキスト輪読
9. テキスト輪読
10. 企業分析報告
11. テキスト輪読
12. テキスト輪読
13. テキスト輪読
14. 企業分析報告

授業時間外 (予習・復習等) の学習 (Study Required Outside of Class)

テキストを熟読し、質問・意見を整理して、論点や質問を発言できるように毎回準備する。報告者はレジュメの作成、報告の準備等を行う。企業研究では、資料の収集・整理・分析を通じたグループ活動を行い、報告・論文作成の準備を行う。また討論会の準備も行う。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

毎回の参加・発言・報告・課題の提出・共同研究への参加度など(95%)/出席(5%)

テキスト (Textbooks)

経営戦略論の基本文献(未定)。2014年度のテキストは、浅羽茂・牛島辰男『経営戦略をつかむ』(有斐閣)。

参考文献 (Readings)

沼上幹『わかりやすいマーケティング戦略』(有斐閣)、テキストを基礎にしながら、その内容に沿って多数の著名な戦略論のテキストの原文に当たっている。参考文献は随時、指示する。

その他 (HP等) (Others (e. g. HP))

<http://www.rikkyo.ne.jp/web/z5000006/akinoHP~2014/rishu.html>